

子育て文教委員会 送付27-10

「軽井沢少年自然の家」「軽井沢メレーズ」の存続を求める陳情

受付年月日 平成27年10月22日

陳情書

(趣旨)

「軽井沢少年自然の家」と「軽井沢メレーズ」は、平成28年4月以降廃止するので、「来年以降は宿泊研修の施設として利用が出来なくなる」ことを、地城振興部「保養施設等について」というパンフレットで知りました。

軽井沢少年自然の家は、障害者の方たちも利用しなれた施設であり、他の代替施設ではなく、社会福祉の立場からもぜひ継続していただきたいと思います。

又、メレーズは区の保養所としてパンフレットも発行されており、千代田区民にとって、かけがえのない保養施設です。「メレーズ」は、保養施設として適切な環境の中にあり、東京から行きやすく、研修室もあり宿泊施設も親しみやすく交流が深まり、食事の内容も豊かです。区民の宿泊研修施設として申し分ありません。

もっと創意・工夫して利用率を上げるということに力をいれて頂き、「軽井沢少年自然の家」と「軽井沢メレーズ」を社会教育施設として存続するよう強く要請いたします。

平成27年10月22日

千代田区議会議長 戸張 孝次郎 殿